



糸原 壽之 議員

質問

ふるさと納税の期待に応えた一層の町づくりを

町長

皆様の期待に応え、町の情報発信を積極的に行う

質問

ふるさと納税を活用した本町の看板事業は。また、納税者の地域は。そして寄付者の使途希望は。クラウドファンディングの取り組み状況は。

町長 ふるさと納税を充てた本町の看板事業は、平成27年度からその多くは、自然環境保全の事業に5,100万円、出産・子育て支援の事業に4,900万円、観光振興の事業に4,300万円を使わせていただいている。

納税者の地域別は、平成29年度で、東京都が約3,000人、神奈川県約1,000人、大阪府約90

0人となっている。

使途希望は、3分の1の方が、町長が定めた事業とされており、次に出産・子育て支援に関するものと、次が自然環境保全に関するものとなっている。

クラウドファンディングの取り組みは現在、テーマや取り組み方法を検討している。実施にあたっては募集機器的システム改修が必要となり、開発会社と協議をしていく。

質問 ふるさと納税が、町の交流人口の増加や移住定住に発展するよう、政策への意見募集や交流会

の開催を実施し、交流の輪の拡大強化を図りたい。

町長 本町への寄付の方はリピーターの方が多く、未永くお付き合いをさせていただく考えである。

中でも、50万円以上を継続してご寄付いただいている方が8名いらっしゃるといふこともあるが、移住までつなげることは難しい。

ふるさと応援寄付を通じて本町を訪れる方は大勢いらっしゃる方で、こうした方々に本町の応援団になっていただき、地域に関わっていただけるような施策を今後も提供していく。

質問 本町のふるさと納税を紹介するパンフレットを町内観光地等へ置いて、ふ

るさと納税者に便宜を図りたい。

町長 貴重な意見をいただいたので、担当課と協議する。

地域の祭り・イベント・フェスティバルについて

質問 祭り・イベント・フェスティバルが果たす町づくりへの役目と効果、期待度について町長の所感を問う。

地域づくりの原点である。

町長 祭りや伝統行事は、地域住民が故郷を愛し、誇りに思う心の現れであり、

人口が減少する中、地域の祭りなどは結束力を高め、さまざまな目標に向かって進む原動力となり、地域づくりに果たす役割と効果は大きい。大いに期待するものである。



年々盛大になる八川盆ボンフェスティバル